農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

竜王町長

市町村名 (市町村コード)	竜王町 (253847)
地域名 (地域内農業集落名)	弓削 (弓削)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月30日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

前回の土地改良事業より約50年が経過しており、圃場、施設の劣化が多く発生しており、耕作者による修繕では困難な状況である。更に経営体において高齢化が進み、後継者が得られない状況にあるため、継続して耕作の意思のある方も離農せざるを得ない事になっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

現在行っている水稲、麦、大豆、そばを主要作物としてブロックローテーションを基本に耕作者間で、圃場の交換を実施し、効率の良い農業経営を進めて行く。又、今後の離農の拡大に対応する施策として新たな担い手の確保に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	65.07 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	65.07 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と農業委員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地域全体を農地バンクに貸し付け、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組方針
筆面積の拡大、高低差解消を取り組む中で水路体系を見直す。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
現状では 集落営農法人、認定農家での受託が可能な状態ではあるが、今後の後継者育成状況によっては農業協同組合等からの支援が必要となる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☒	③スマート農業	☐	④輸出	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☒	⑦保全・管理等	☒	⑧農業用施設	☐	⑨その他		

【選択した上記の取組方針】

③地上防除において現在の労働力では安全面でのリスクが増大するためドローンを活用した取り組みを行う。
 ⑦用排水路および農道の保全管理は、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策を利用し、区民全体の取り組みとして地域の活動活性化に繋げる。
 ⑧担い手(耕作者)の意向をもとに農業用施設の更新・改修に合わせ集約化を進め